

令和 8 年 佐保会所蔵 雛人形展 「中国・四国地方の人形たち」 を 開催しました

桃の花の咲くこの時期に、佐保会所蔵 雛人形展を開催しました。これに合わせるかのように構内の桜も華やぎを添えてくれました。

佐保会では昭和 3 年に佐保会館が建設されたのを機に、全国の佐保会員に雛人形、郷土人形の寄付を呼び掛けたところ、昭和 4 年から 9 年頃に 200 組、総数約 680 点が寄せられ、現在まで大切に保存してきました（昭和 5 年の展示：後掲 5 段目左端写真）。

所蔵品のなかには 地域では既に失われ、博物館や郷土資料館ですら僅かな資料しか残していないものが含まれており、貴重な資料となっています。

今年はそれらのうち、常設展示の御殿飾り雛人形（昭和 5 年、大阪支部会員寄贈）等とともに、中国・四国地方の郷土人形を展示しました（上述写真 左上段には本年展示 大女達磨（高知）後掲 3 段目左から 3 番目）を見つけることができる）。

開催期間中の入学式当日には、一般の方や在学生はもとより、多くの新入生や保護者の方々が次々と来館され、ゆっくりご覧いただきました。出身地の郷土人形を見つけては嬉しそうに会場係に話しかけてくる学生もいました。人形に詳しい来館者からは、今後も大切に保存するよう、エールをいただきました。来館者の多くは登録有形文化財である佐保会館の見学も希望され、建物もご覧いただきました。

新年度を迎えて希望にあふれるとき、雛人形展をとおして、同窓会佐保会の歴史や大学との繋がりを学生はもちろん、多くの方に知ってもらう機会にもなり、会場は終始和やかな雰囲気になりました。